

The background of the slide is a reproduction of Leonardo da Vinci's 'The Last Supper' fresco. It depicts Jesus Christ seated at the center of a long table with twelve apostles in a room with a grid-patterned ceiling and arched windows. The scene is dimly lit, with light coming from the windows behind the figures.

補足

西洋美術史ゼミ

第17回

抽象主義・ダダ・シュルレアリスムなど

発表者 あまずん

発表者について

あまずん

Twitter : @quii_w (メイン)

@amazuunsc (サブ)

理系の大学生 (数学科) です。

近代以降の美術史や思想史、現代美術について
興味があります。



ゼミについて

- 週1回程度で美術出版社「増補新装 カラー版 西洋美術史」を一章ずつ読み進め、内容をまとめ発表します。
- また、高校世界史に沿う形で当時の出来事についても説明します。
- そのため、世界史と美術史を同時に学ぶことができるため、歴史が好きな方も美術が好きな方も学びを深めることができます。



前回の内容

- **第一次世界大戦**が起こり、古い政治体制や自由主義的な価値観が根底からゆらいだ。その結果、**ヨーロッパの没落**や**アジア・アメリカの地位の向上**、**ソ連の誕生**などが起こった。
- 19世紀末～20世紀初頭に起こった**幻想的・神秘的・退廃的**な性格を有する諸芸術を**世紀末芸術**と呼ぶ。
- **フォーヴィスム**と**ドイツ表現主義**は鮮烈な色彩と激しい筆致で純粋な**色彩の美**を求めた。
- キュビズムは形態の革命で、**対象を解体・再構築して遠近法の解体を図った**。



マティス 《赤のハーモニー》

本日の内容

世界史について

- 世界恐慌とファシズムの台頭
- 第二次世界大戦

美術について

- イタリア未来派
- ロシア・アヴァンギャルド
- ダダとシュルレアリスム
- **エコール・ド・パリと素朴派（補足スライド）**
- **建築・彫刻・写真（補足スライド）**
- **アールデコとバウハウス（補足スライド）**
- **南北アメリカの絵画運動（補足スライド）**

全体の概略

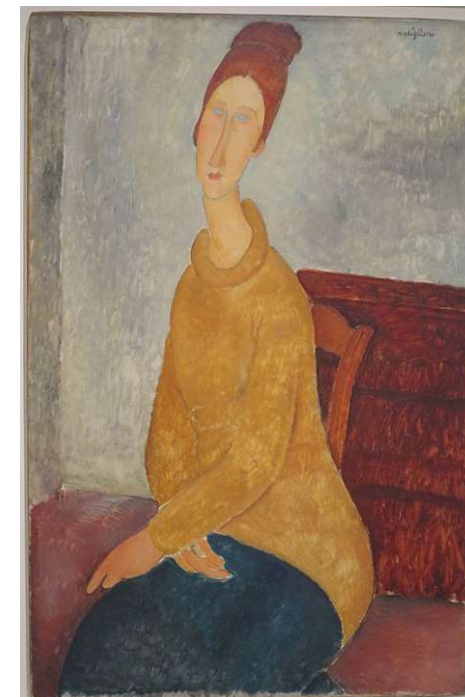
- これは第17回の補足スライドです！
- このスライドではエコール・ド・パリや素朴派、**絵画以外のファインアート**や**バウハウス**を始めとする**デザイン**などについて扱います。
- これらはメインストリームではないものの、美術史を語るうえで欠かせないものです。例えば「乳白色の肌」で知られる藤田嗣治はエコール・ド・パリに分類されます。
- とはいえ本編（？）とは独立した内容なので、読まなくても発表の聴講には支障ないはずですよ。お時間のある方はお読みください。

本日の内容

- 世界史：世界恐慌とファシズムの台頭
- 世界史：第二次世界大戦
- 美術史：イタリア未来派
- 美術史：ロシア・アヴァンギャルドと抽象絵画
- 美術史：ダダイズム
- 美術史：シュルレアリスム
- **美術史：エコール・ド・パリと素朴派（補足スライド）**
- 美術史：建築・彫刻・写真（補足スライド）
- 美術史：アールデコとバウハウス（補足スライド）
- 美術史：南北アメリカの絵画運動（補足スライド）

エコール・ド・パリ(1)

- フランス革命後、美術の舞台はローマから**パリ**に移り、ここではフォーヴィスムやキュビズム、シュルレアリスムといった多様な芸術運動が花開いていた。
- しかし、このような運動に加わらず、**各々で独自の世界を切り開く**画家たちもいた。彼らは**エコール・ド・パリ (パリ派)**と呼ばれ、交流はあったが出身国も画風も様々であった。

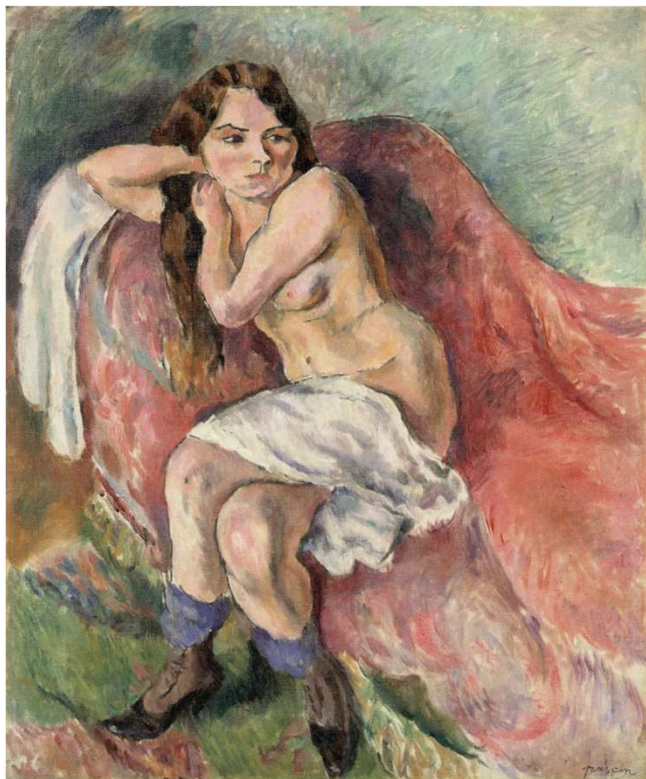


モディリアーニ 《黄色いセーター》

エコール・ド・パリ(2)

- 以下の画家が有名である。
1. アメデオ・モディリアーニ
 2. 藤田嗣治
 3. マルク・シャガール
 4. モーリス・ユトリロ
 5. シャイム・スーティン
 6. ジュール・パスキン

エコール・ド・パリ(3)



パスキン 《ソファに腰かけるシュザンヌ》

- [https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%83%95%E3%82%A7_\(%E8%97%A4%E7%94%B0%E5%97%A3%E6%B2%BB%E3%81%AE%E7%B5%B5%E7%94%BB\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%83%95%E3%82%A7_(%E8%97%A4%E7%94%B0%E5%97%A3%E6%B2%BB%E3%81%AE%E7%B5%B5%E7%94%BB))

藤田嗣治 《カフェ》

エコール・ド・パリ(4)



By Maurice Utrillo - Sotheby's sale N08588, Nov. 5, 2009, Fair use, <https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=24950333>

ユトリロ 《La Rue Norvins à Montmartre》



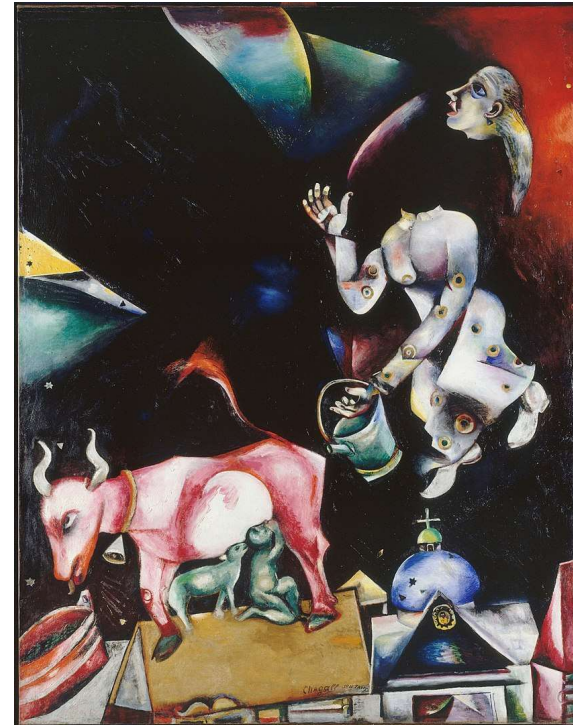
スーティン 《ニシンとタマネギのある静物画》

エコール・ド・パリ(5)



By Marc Chagall - Museum of Modern Art, New York, PD-US,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=39006275>

シャガール 《私と村》



By Marc Chagall - Agence Photographique de la Réunion des musées nationaux
et du Grand Palais des Champs-Élysées, PD-US,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=59818098>

シャガール 《ロシアとロバとその他のものに》

素朴派(1)

- また、この時代は**正規の美術教育を受けていない**画家が多く登場したことも特徴である。
- 彼らは**素朴派**と呼ばれ、別の生業の傍ら作品制作を続けていた、いわゆる素人画家である。しかしその創造性は高く、特に**アンリ・ルソー**などはかなり高く評価されている。
- こういった「アウトサイダー」による作品は**アウトサイダー・アート**として分類され、現在の美術の一分野を担っている。



アンリ・ルソー 《眠るジプシー女》

素朴派(2)



アンリ・ルソー 《夢》

本日の内容

- 世界史：世界恐慌とファシズムの台頭
- 世界史：第二次世界大戦
- 美術史：イタリア未来派
- 美術史：ロシア・アヴァンギャルドと抽象絵画
- 美術史：ダダイズム
- 美術史：シュルレアリスム
- 美術史：エコール・ド・パリと素朴派（補足スライド）
- **美術史：建築・彫刻・写真（補足スライド）**
- 美術史：アールデコとバウハウス（補足スライド）
- 美術史：南北アメリカの絵画運動（補足スライド）

20世紀初頭の建築(1)

- 19世紀までは石とレンガが主役であった建築分野だが、この時代に**鉄筋コンクリート**の技法が確立され、建築家は飛躍的に豊かな表現力を獲得することになった。
- 鉄筋コンクリートは自由な造形性をもち、まるで粘土をこねるように物体を思いのまま操ることが出来た。
- この創造性を活かし近代建築の三大巨匠と呼ばれたのは**ル・コルビュジエ**、**フランク・ロイド・ライト**、**ミース・ファン・デル・ローエ**である。

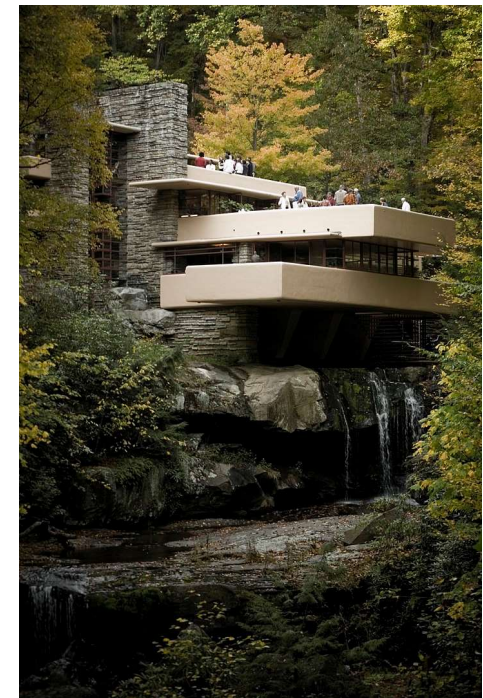


663highland, CC 表示 2.5,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=2193660>
による

ル・コルビュジエ 《国立西洋美術館》

20世紀初頭の建築(2)

- また、この時代の建築家は単に一つの建物を完成させるだけではなく、その建物の**社会的役割というものに対して**も責任を負うようになった。
- この流れを受けて、**合理主義的な機能主義建築**と**表現主義的な有機的建築**の二つの流れが生まれた。
- 先に挙げた三名だと、ル・コルビュジエとローエが機能主義、ライトが有機的である。日本では、国立西洋美術館をル・コルビュジェが、帝国ホテルをライトが設計している。



Sxenko, CC 表示 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=3171223>による

ライト 《カウフマン邸》

20世紀初頭の彫刻(1)

- 諸芸術の流れを受け、彫刻も従来の写實的・公共的なものから**抽象的で表現主義的なもの**へと変化していく。
- キュビズムなどの影響を受け、**プリミティブな形態**（**ブランクーシ**）や**極度に抽象化された造形**（**ブランクーシ、モディリアーニ**）が生まれたほか、**ジャコメッティ**のような**シュルレアリスム的な彫刻**も作られた。
- また、未来派の項で扱った**ボツチョーニ**の作品も重要である。



By Constantin Brâncuși - Library of Congress, PD-US,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=3898957>
6

ブランクーシ 《接吻》

20世紀初頭の彫刻(2)



Mike Master - File:Coloana_Infinită_-_vedere_spre_vest.JPG,
CC 表示-継承 4.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=91319130>
による

ブランクーシ 《無限柱》



By Original work: Alberto Giacometti
Depiction: Christies - <http://www.christies.com/media-library/images/features/articles/2015/04/15/giacometti/1.jpg>, Fair use,
<https://en.wikipedia.org/w/index.php?curid=46682587>

ジャコメッティ

《L'Homme au doigt》
(The Man with the Finger)

20世紀初頭の写真(・映像)

- この時代は写真や映像といった、単なる記録のために使われていた技術が美術家によって用いられるようになった時代でもある。
- 写真では**マン・レイ**が特に有名で、映画史としてはロシア・アヴァンギャルドの時代に作られた『**戦艦ポチョムキン**』などが重要である。
- こういった作品は**複製芸術**と呼ばれ、オリジナルと複製品の差異が問われることとなり、**ベンヤミン**の「**アウラ**」などの概念が生み出される。



オデッサの階段の虐殺
(戦艦ポチョムキンの有名な一場面)

本日の内容

- 世界史：世界恐慌とファシズムの台頭
- 世界史：第二次世界大戦
- 美術史：イタリア未来派
- 美術史：ロシア・アヴァンギャルドと抽象絵画
- 美術史：ダダイズム
- 美術史：シュルレアリスム
- 美術史：エコール・ド・パリと素朴派（補足スライド）
- 美術史：建築・彫刻・写真（補足スライド）
- **美術史：アールデコとバウハウス（補足スライド）**
- 美術史：南北アメリカの絵画運動（補足スライド）

アールデコ

- 20世紀のデザインは工業技術の進展に伴い、（アール・ヌーヴォー的な）華美な装飾を廃し、**合理的・機能的なデザインを希求した**。
- **アールデコ**はアール・ヌーヴォーに続く美術様式である。キュビズムなどの**前衛的造形やエキゾチシズム**、強化ガラスのような**新たな素材**を取り入れた、**幾何学的形態や鮮やかな色彩が特徴**の製品が作られた。この様式は各国に広がり大量生産された。

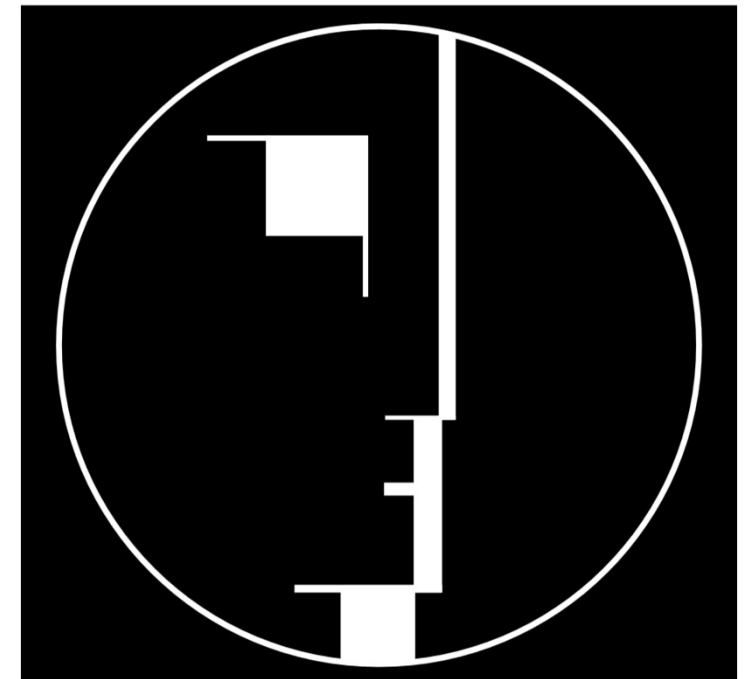


コンピュータが読み取れる情報は提供されていませんが、Toksookだと推定されます（著作権の主張に基づく） - コンピュータが読み取れる情報は提供されていませんが、投稿者自身による著作物だと推定されます（著作権の主張に基づく）、CC 表示 2.5, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=671383>による

Maurice Ascalon

バウハウス

- 1919年、ドイツに**バウハウス**という美術学校が設立された。これは美術・建築に関する総合教育を行った学校で、以後のデザインに多大な影響を与えた。
- バウハウスの教育は抽象芸術の理論を基礎としており、**長方形や球体など幾何学的形状**を特徴とする様式である。カンディンスキーやクレーも教師として参加し、彼らの教えは「バウハウス叢書」として現代でも読むことができる。



バウハウスのエンブレム

本日の内容

- 世界史：世界恐慌とファシズムの台頭
- 世界史：第二次世界大戦
- 美術史：イタリア未来派
- 美術史：ロシア・アヴァンギャルドと抽象絵画
- 美術史：ダダイズム
- 美術史：シュルレアリスム
- 美術史：エコール・ド・パリと素朴派（補足スライド）
- 美術史：建築・彫刻・写真（補足スライド）
- 美術史：アールデコとバウハウス（補足スライド）
- **美術史：南北アメリカの絵画運動（補足スライド）**

南北アメリカの絵画運動

- 最後に、詳しい解説書でも扱われないこともままあるほどに周縁的な運動ではあるが、個人的な興味があるため**メキシコ壁画運動**と**アメリカン・シーン**について扱う。
- 繰り返すが、この二つはここまで述べたものより遥かに非主流的なものであり、後世への影響も少ない。そのため、「メイン」の美術史への理解が固まっていない場合はむしろ読み飛ばす方が良くかもしれない。
- その場合は末尾にこのスライドのまとめがあるので注意されたい。



ホッパー 《ガス・ステーション》

メキシコ壁画運動(1)

- 1930年代、モダニズムがヨーロッパと北アメリカの境界を越え、世界に広がり始めた。メキシコはその中心であり、ここで**メキシコ壁画運動**が生まれた。
- 壁画は個人所有されず**誰でも見ることができ**、また**文字が読めなくても鑑賞することができる**芸術作品である。時の政府はこれを革命の成果と民族アイデンティティを教える絶好の形式と考え、多くのフレスコ画を作らせた。



Thelmadatter, CC 表示-継承 3.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=3887674>
による

ディエゴ・リベラの壁画

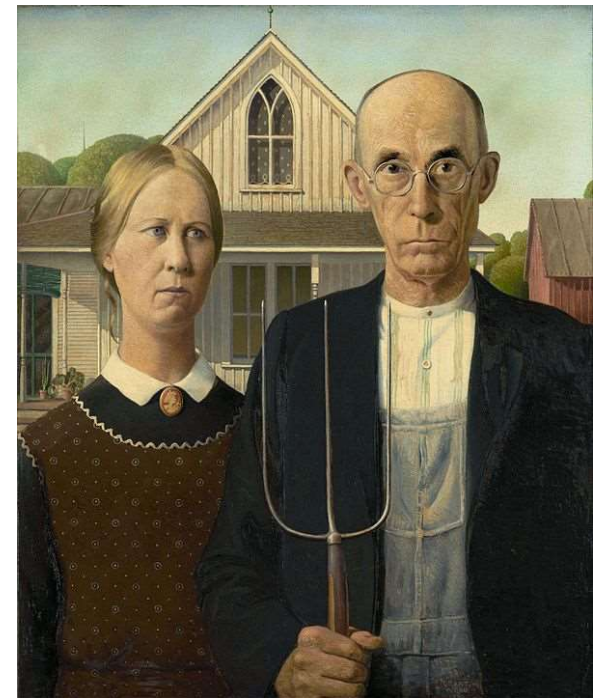
メキシコ壁画運動(2)

- **ディエゴ・リベラ**が特に有名で、彼はダイナミックな構図と強烈な色彩の作品を多く残した。
- 彼の妻である**フリーダ・カーロ**も有名である。彼女は壁画を残さなかったものの、メキシコの現代絵画を代表する画家であり、身体上の障害に長く苦しんだ自分自身をモチーフとした作品を作り続けた。
- <https://artsandculture.google.com/asset/the-two-fridas-frida-kahlo/zAHG4EZ1WrwVYg?hl=ja>

カーロ 《二人のフリーダ》

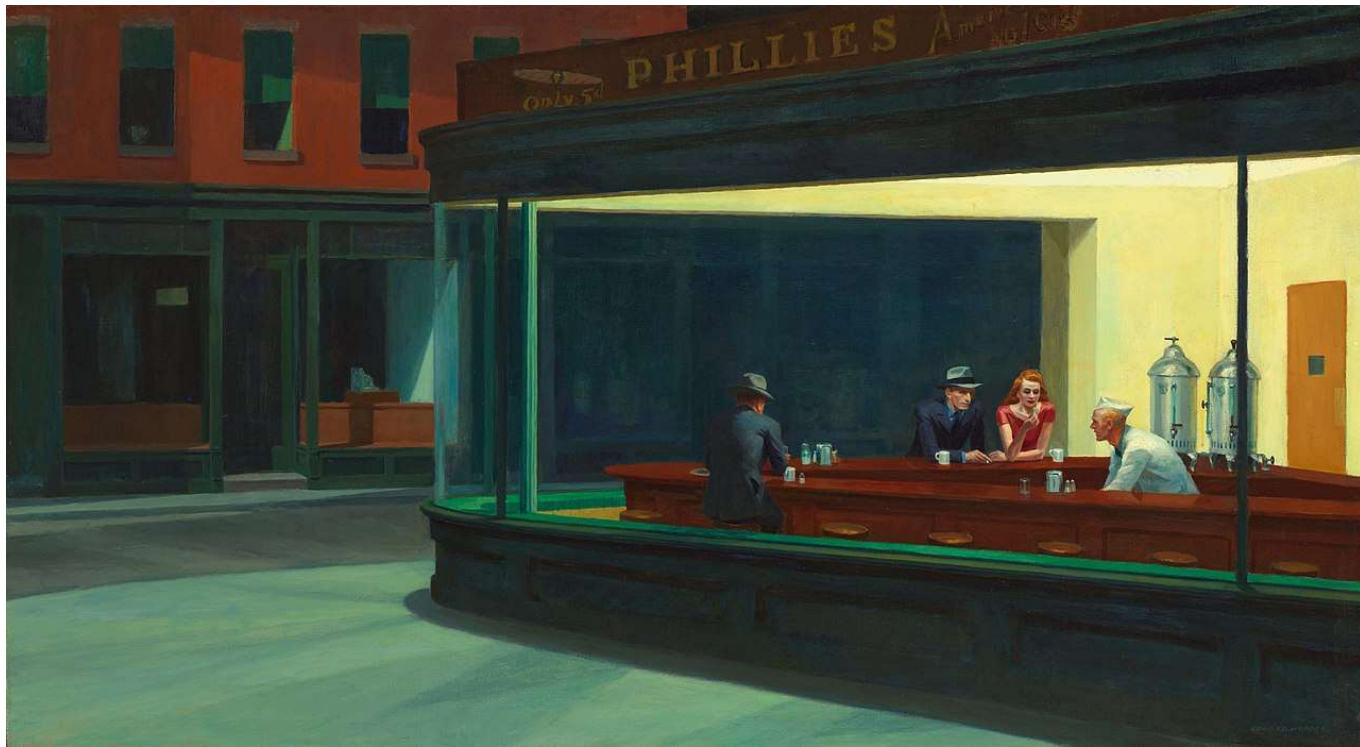
アメリカン・シーン(1)

- 1920～40年代に起こったアメリカン・シーンの運動は、当時の前衛志向にたいして具象的・写実的なのである。
- **エドワード・ホッパー**や**グラント・ウッド**が有名だが、主として**退廃的な都市生活や郊外、農村部の風景**などを主題とし、これらを愛国主義的に描いた。



ウッド 《アメリカン・ゴシック》

アメリカン・シーン(2)



ホッパー 《ナイト・ホークス》

